

1 ●トラック1 初対面

2 ●背景…執務室（日中）

3
4
5 （主人公、掃除中）

6 ◇SE…ホウキで掃く音
7 （後ろからノアがやって来）

8
9 ◆後方

10
11 ■演技…別人のように愛らしく

12 師匠…♥ 愛する弟子が任務をこなしてきま——

13
14 （主人公、振り返る）

15 （ホウキ、停止）

16
17 ■演技…主人公に気づいてテンションを変える

18
19 ◆正面

20
21 は？ だ、だれ？

22 なんで師匠の執務室に入ってるんだあッ！

23
24 （主人公「あの、そ、掃除を……」）

25
26 掃除いいッ……

27 誰が貴様に頼んだ！

28 師匠の在中する場所に男は入ってはいけない。

29 そういうルールだ！

30
31 師匠は騎士全員の憧れにして圧倒的な美貌を持った素晴らしいお方！

32 貴様のようなちんちくりんのガキが近づいていい存在じゃない！

33
34 （主人公「師匠って……？」）

35
36 師匠は師匠だ！

37 レナ様だ！
38 貴様、半年も前から師事し始めたんだろ。
39
40 師匠の名前も知らないのか！
41 尊敬の念もないのによくもまあ私を差し置いて師匠にお近づきになれるな！
42 冒険家のくせして西の要塞のトップ騎士の弟子入りとは随分とナマイキなことをするじや
43 ないか！
44
45
46

(主人公「あの……キミは？」)

47 私はノア！
48 レナ様の弟子だ！
49 弟子がいると聞いてるはず！
50 その弟子こそが私！
51 つまり私に黙って弟子を名乗るのは私にも失礼ということ！
52 たしかに教授されてはいるだろうけど、
53 それを弟子入りなどと軽口叩かないでほしい！
54

55ほんと、こんなひよろっひよろのガキンちよが同門の弟子なんて、
56 私は屈辱だ……。
57 どうせチンポの毛も生えてないような青臭い男なんだろ。
58 童貞に決まってる、童貞に。
59

60 で！ レナ様はどこっ？
61 男なんかが同じ門下であることは許しがたい。
62 早急にレナ様にこの件を訴えなくちゃ。
63

(主人公「任務に行って、しばらく帰ってこないって」)

64
65
66 ハアッ。しばらく帰らないッ。
67 なんで貴様なんかにそんな大事なことを教えてるんだ！
68

(主人公「伝言で……僕の面倒はキミにつて」)

69
70
71 ハアアアアッ。
72 私が貴様の面倒を見るとッ。

73 ほんとにレナ様がそんな伝言をレナ
74 といつかなんで貴様に伝言を頼むッレナ
75 一番弟子じゃなくてなんで貴様にッ！
76
77 むうううう！
78 なにもかも納得いかない……ッ。
79 チンポの皮余りまくってそうな顔してるくせに……。
80 毎日チンカス溜まってそうなチンポぶら下げて、
81 綺麗なレナ様に近づくんじゃない……。

82
83 (主人公「あの、そういうことは言わない方が……」)

84
85 うるさーいッ。
86 私は別に男に好かれようなんて思ってない。
87 むしろ嫌いだ。
88 下品な言葉使おうが別になんとも思わないんだ。
89

90 はあ。
91 もう怒り疲れた。
92 とりあえず師匠が帰るまでは師匠に言われたことは守る。
93 貴様の稽古を任されるんだな。
94

95 ……はあ。
96

97 **■演技…小声で愚痴**

98 つたく、なんで私が男の稽古なんか……。

99 **■演技…ここまで**

100
101 仕方ない。
102 明日、私流の稽古を始める。
103 遠くにある山にこもって足腰を鍛える特訓だ。
104 せいぜい泣きべそかいて師匠を幻滅させないようにするんだな。
105
106 ま、私としては泣いて逃げてくれた方が助かるんだけど。
107
108

109 ●トラック2 大雪で深山に遭難

110
111 ●背景…山小屋（日中）

112
113 （吹雪に吹かれて山小屋に避難した）

114 （ノアがドアを閉めるところ）

115 ◇SE…吹雪の音（数秒流してドアを閉める）

116 ◇SE…ドアを閉める（重ため）

117
118 ◆正面

119 ■演技…背中を向ける

120
121 はっ！

122 危うく凍死するところだった……！

123 ■演技…ここまで

124
125 ◇SE…足音数歩

126
127 あんたは平気？

128 いくら男嫌いだろうと人に死なれちゃ気分悪いし。

129 体調悪かったら言って。

130 私、こう見えても遭難した時の心得くらい――

131
132 ■演技…くしゃみ

133 くしゅっ！

134
135 ■演技…震える

136 ううっ！

137
138 思ったより寒くなってきた……ッ。

139 いや、ごめん。

140 私が事前情報を仕入れてればこんなことに……。

141 はあ……こんなことじゃ、一生レナ様の右腕になれない。ヘマして新しい弟子まで危険な
142 目に遭わせて……。

143
144 （主人公「大丈夫？」）

145
146 ああ、私のことは心配しないで。
147 アンタは？

148
149 (主人公「魔力で温められるよ」)

150
151 ま、魔力で暖を？

152 そんなことできるんだ……いいな。私、魔力が少ないからそんなことできない。

153
154 (少しの間)

155
156 ■演技…くしやみ

157 くしゅっ！

158
159 あ、あのさ、少し寄っていい？

160 人肌に触れれば、暖まれると思うんだ……。

161
162 ◇SE…足音

163 ◇SE…座る音

164
165 ◆右極近

166 ■演技…指定箇所以外、マイクに横向き

167
168 手、握っていい？

169 許可得なくても勝手に握るけど！

170
171 (ノア、手を握る)

172
173 わ……温かい……。

174 これ、いまのアンタから発せられてる熱……？

175
176 (主人公「魔法、だからね」)

177
178 す、すごい……ッ。

179 私じゃこんな立派なことできない……。

180

181 あ、じゃ、じゃあさ？

182 アンタが全裸になればいいんじゃないか？

183 そしたらアタシがくっついて暖を取れる！

184

185 (主人公「ぼ、僕が寒くなるんだけど……」)

186

187 ハア？ いいでしょ、アンタが寒くなっても。

188 こっちは女なの！

189 レナ様に聞いた。

190 女は体を冷やしちゃいけないって。

191

192 下半身だけでいいから。

193 ほら、脱ぎなさい。

194

195 ■演技…マイクに横向きここまで

196 ■演技…顔を背けて後頭部を見せる

197

198 見ないでおいであげるから！

199

200 ◇SE…ズボンを脱ぐ

201

202 うっ……。

203

204 ■演技…小声で独り言

205 ほんとに脱ぐとは……。

206 ■演技…ここまで

207

208 ◇SE…パンツを脱ぐ

209 (少しの間)

210

211 ……脱げた？

212

213 (主人公「う、うん」)

214

215 よし。

216 ■演技…顔を背けるここまで

217

218

(ノア、立ち上がって主人公に跨がり、対面座位の形)

219

◇SE…立ち上がる音

220

◇SE…跨がる音

221

222 ◆正面近い

223

224 ■演技…温かさに癒されてるような声で

225 あ……あったかい……ッ。

226 ほんとにぽかぽかする……。

227 これ、人間の体温なの……？

228

229 (主人公「冷たくするのはできないんですけどね」)

230

231 暖めることしかできないの？

232 ふうん、まあ、そっか。

233 冷えたら体がついていけないのか、なるほど。

234

235 その毛布取って？

236 私が被るから、もっと密着すれば――

237

238 ◇SE…毛布を広げる

239 (ノア、肩に手を回して密着)

240

241 ◆左極近

242 ■演技…指定箇所以外、マイクに横向き

243 はあ……。

244 男とこれだけの密着を高めるのは屈辱だけど……、

245 死んでしまったらレナ様に忠誠を誓えない。

246

247 (主人公「なんで男の人が苦手なの？」)

248

249 ん？ 男が苦手な理由、かあ……。

250 特別考えたことないなあ。

251 ただ、軟弱な男と違ってレナ様が美しく、聡明であられた……それだけかな。

252

253 (主人公「なにかあったわけじゃないんだ」)

254

255 ハハハ。ないない。

256 男にはなにもされてない。

257 ただ嫌いなだけ。

258

259 はあ……。

260 聞けばアンタ、半年もレナ様を師事してたんだって？

261 私もその場に居たはずなのに、

262 レナ様が私の性格を考慮して会わせないようにしてたわけだ。

263

264 さすがレナ様。

265 人を管理することにも長けてるとは。

266

267 (主人公「あ、あの、動かないで」)

268

269 ん？ どうした？

270 さつきから恥ずかしそうだけど。

271

272 (主人公「そりゃあ……下半身、裸だし……」)

273

274 だから私はチンポなんて見てない。

275 そっちが気にしなければ問題ない。

276 私が気にしてないんだか——ら——

277

278 (ノア、ペニスの勃起に気づく)

279

280 は？

281 ■演技：マイクに横向きここまで

282

283 ◆正面近い

284 ■演技：下を見る

285

286 なんで勃起した？

287 私、なにもしないんだが？

288

289 (主人公「見ないでえ……」)

290

291 わっ！ ま、ますます大きくなった！

292 まったく、これだから男は嫌いなんだ。

293

294 (主人公「ごめん……」)

295

296 生理現象なのは理解してるけど、

297 さすがに大きくしすぎ。

298 **■演技：下を向くここまで**

299

300 これ、どうすれば萎えるの？

301 これじゃあ暖を取れないじゃないの。

302

303 (主人公「しや、射精すれば……」)

304

305 射精いい？

306 はあ……男ってやゝっぱりそういう考え。

307 昔さ、レナ様を押し倒してヤリとか言ってる賊が居たんだ。

308 私もセットで乱交して、種付けしてやるよゝ有り難く思えよゝつ的なことを言ってたな。

309

310 それ聞いてぶち切れて半殺しにしちゃった。

311 レナ様はそんな輩にすら更生の余地を残したんだ。

312 私的にはキンタマ踏んづけて二度と種付けできないようにしてやりたかったけど、

313 はあ……そういう輩にレナ様と接触できないよう、私が居るわけ。

314

315 そんな私に、射精求めるの？

316

317 (主人公「でも……ノアさん、とても綺麗だし……」)

318

319 ハア？ ハハハ……この状況で私に綺麗っていうの？

320 中々の色男だな。

321 勇気があるよ。

322

323 はあ……まあ、仕方ない。

324 温めてもらった恩もあるし……一回だけなら、射精させてあげる。

325
326 (ペニスを握る)
327

328 んう……。
329 チンポなんて、握ったの初めてだよ。
330 しごくよ？
331

332 ◇SE…手コキ・低速
333

334 これくらいでどう？

335 ん、う……ううう、気持ち悪……っ。

336 うッ……この、脈打ってる感触も……ちよつと先端がピンクっぽいのもムリ……。

337
338 ううっ……んッ、う……、

339 私に綺麗って言った度胸を称えて、抜いてあげる気持ちもあるけど……、

340 男自体はムリ……。

341 アンタは、男の中でもまだマシな程度。

342
343 んう……ん……っ……。

344 ふううう………。

345 ん、ッ、ん……。

346
347 ◆右極近

348
349 で、どうやったら射精ってすんの？

350 あんまチンポ握ってたら心まで冷えちゃうんだから、

351 さっさと終わらせたいの。
352

353 (主人公「耳舐め、とか」)
354

355 耳舐めえ？

356 うう……ま、まあ、キモいけど、さっさと終わるならいいか……。

357
358 (耳舐め開始)
359

360 レロレロレロッ。

361 ちゅぶうう、チュツ、これでどう？
362 ちゅんん、ちゅ、チュツ、ちゅ……ちゅるるッ、チュツ。
363 性処理って、そもそも嫌なんだよ……。
364
365 れろれろッ、ちゅ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
366 れろれろ、上手すぎると娼婦みたいに思われそうで、
367 下手すぎると処女っぽいつて呆れられて……。
368
369 んん、ちゅ、ちゅくう、私の考えすぎ？
370 れろっ、れろッ、ちゅ、ちゅくうう、ちゅッ。
371 んん、ちゅ……んん、ちゅば、ちゅ……ッ。
372
373 実際、男嫌いの女なんてこんなもんだと思うけど……。
374 れろれろっ、ちゅうう、んん、ちゅば、チュツ。
375 れろッ、ちゅば、ちゅ、んん、ちゅくううう、ちゅッ、ちゅ。
376
377 んん、はあっ、ちゅ、ちゅッ、んん、ちゅ。
378 あ、もしかしてこれ遅い？
379 ならペースあげてみるけど――
380
381 ◇SE…手コキ・中速
382
383 これくらいはどう？
384
385 (主人公「すごいいい感じ……っ」)
386
387 そっか、ならよかった。
388 ふう、んん、ん……ううっ、なんか出てる……ッ。
389 ヌメヌメして気持ち悪い……ッ。
390
391 チンポってよく知らないんだけど、
392 この透明なのなに？
393
394 ううッ、んん、ヌルヌルしてて……うわあ、
395 擦るたびにどんどん溢れてくる……っ。
396

397 (主人公「か、カウパー……」)

398

399 カウパー？

400 精液以外にも出るものあんだ……。

401 さすがに知らなかったけど……んんう、まあ、いいや。

402 んっ、ん……ふう、ん……どのみち、使う知識でもないし。

403 この射精が終わったら、すぐ忘れる努力をする。

404

405 (主人公「そこまで嫌わなくても」)

406

407 うるさい。

408 男は嫌いな。

409 チンポなんてなおさら。

410

◆左極近

412

413 さつさとイケ。

414

■演技…息を吹く(ゆっくり)

416 ふうー……。

417

418 騎士の手をチンポ如きに使わせるんじゃないよ。

419 まったく……アンタ、ほんとにレナ様の弟子？

420 半年も居ながら……こんなにチンポに理性支配されてさ、

421 戦う人間としてどうなの？

422

423 (耳舐め開始)

424

425 れろれろろッ、ちゅば、ちゅ、ちゅううう。

426 れろれろッ、ちゅ、ちゅっ、んん、ちゅ、ちゅっ。

427 まだイカないの？

428

429 れろれろッ、ちゅ、ちゅううう、ちゅ。

430 チンポ熱すぎるんだよ……っ。

431 んう、暖を取るには熱が強くて、ちようどいいけど……ッ、

432 チンポで暖まるって、なんか屈辱だ……。

433
434 ん、ちゅ、ぷちゅうう、チュツ、ちゅく、ちゅ。
435 れろれろっ、とにかく、早く出して……ッ。

436
437 ◇SE…手コキ・高速

438
439 これなら、どう？

440 ちゅるちゅるちゅる……ッ！

441 んぷぷうううう、チュパッ、ちゅ、ちゅううう！
442 ずずッ、ちゅ、んんん、ちゅぷううう、チュツ！

443
444
445 (主人公「で、出る」)

446
447 出るの？

448 オッケー。

449 ちゅうううう、ッ、ちゅく、ちゅううッ。

450 出せッ。

451 ほら……チンポイケ……ッッ。

452

453 (手コキ射精)
454 (手コキ停止)

455 ◇SE…射精

456
457 わ……ッ！

458

459 ◆正面近い

460 ■演技…下を見ながら

461

462 うわぁ……！

463 かかった……ッ。

464 最悪……ッッ。

465 臭いし、汚いし……ッ、

466

467 ◇SE…射精(微量)

468

469 うろうろ……っ！

470 ま、まだ出てるし……ッ。

471

472 あ、アンタねえ……イケとは言ったけど、

473 こんな出せとは言つてないんだけど……。

474 ったく、男ってほんと欲望に忠実ね。

475 ■演技：下を向くここまで

476

477 （射精を促すために精液まみれのペニスを手コキ）

478 ◇SE：水音手コキ・中速

479

480 はあ……。

481 全部出してよ。

482 早く終わりたいし、萎えてくれないと。

483

484 （主人公「あ、あのっ、ムリです……」）

485

486 は？

487 萎えないの？

488 これでも？

489

490 （手コキ停止）

491

492 ■演技：深いため息

493 はあああ……。

494

495 温かいけど……気持ち悪い。

496 このチンポ、どうすればいいの？

497

498

499

500

501

502

503

504

505 ●トラック3 仕方なくの選択肢

506
507 ●背景：山小屋（日中）

508
509 （トラック2の続き）

510 （ペニスは精液まみれ、対面座位で跨がったまま）

511
512 ◆正面近い

513
514 で、このベトベトでくさくさなチンポ……、

515 どうすれば萎えてくれるの？

516
517 （主人公「僕……ぜ、絶倫気味で……」）

518
519 絶倫う？

520 たしか……性欲が強すぎるってアレでしょ？

521 そんなわけないだろ、アンタのようなガキが。

522
523 目の前にいい女がいてついつい発情しちゃってるだけでしょ？

524 童貞なんてそんなもんに決まってる。

525 で、エロガキは——

526
527 ■演技：ペニスを見る

528 このヌルヌルベトベトのチンポ、どうしてもほしいわけ？

529 ■演技：ここまで

530
531 （主人公「しゃ、射精したから余計に昂ぶって……」）

532
533 ハア？ 射精したせいで勃起が止まらないっていうの？

534 せっかく射精させてあげたいのにその言い草……、

535 はあ……これだから男は……。

536
537 まあいいや。

538 私にとってはくつついてないと暖を取れないわけだから……、

539
540 （ノア、フェラ位置に移動）

541 ◇SE…しゃがむ

542

543 ◆正面下近い(フェラ位置)

544

545 チンポ自体が熱いなら、

546 咥えたらもつと熱いでしょ。

547 口でするから……しっかり出すように。

548

549 この男嫌いのノアが舐めるんだぞ？

550 感謝しながら感じなさい。

551 それと……だれかに告げ口したらアンタの首を城門に飾ってやる。

552

553 (主人公「こ、怖いよ……」)

554

555 それくらい嫌ってことよ。

556 実際そんなことするわけないでしょ。

557 私がレナ様に殺されるわよ。

558 じゃ……

559

560 (舐めフェラ開始)

561

562 ぺろ。ぺろおんん。

563 チュパッ、ちゅ……レロレロ、ちゅく、んんん、ちゅ……ちゅッ。

564 んぶぶ、ちゅ……んん、ちゅううう、ん、チュッ。

565

566 臭いなあ……吐きそう。

567 れろれろッ、ちゅ、ちゅ、んん、ぶちゅ、ちゅ……。

568 れろ、れろッ、んん、ちゅ、ちゅ。

569

570 退職した女騎士がいてさ、

571 れろれろ、チュッ、ちゅ、

572 「ノアちゃんも彼氏作ってセックスしなよ。価値観変わるよ？」

573 って言われたの。

574

575 こんな舐めてなにが変わるの……解説してもらいたい。

576 んぶぶうう、ちゅ、増してるのは幸福感じゃなくて、嫌悪感だけ。

577 ぷちゅん、チュツ、ちゅく……んんん、チュツ。
578 ん、ちゅ……ん、ちゅく、ちゅツ、ちゅ……。

579
580 れろろ、ちゅ、ちゅう、んん、ちゅツ、チュツ。
581 んん、ちゅ、ちゅ、こんな硬いの舐めたことない。
582 食べ物にはない食感だ……。

583
584 ちゅ、とは言っても、二度と舐めたいと思えない。
585 れろツ、ちゅ、ちゅ、私には性なんていらぬ……。
586 ちゅうう、ちゅ、どうせ舐めるなら、レナ様のおまんこを舐めたい……。

587
588
589 (主人公「ゆ、百合……？」)

590 まあ……同性愛は否定しない。
591 ちゅう、ちゅ、ちゅむ、ちゅ……れろ、れろツ。
592 だからこそ、こんな風にチンポを舐める自分が……、
593 自分でも理解できない……。

594
595 れろつ、ちゅぶ、ちゅ……レロレロレロ。

596 んん、ちゅく、ん、ぷちゅ、ちゅ……ツ、チュツ。

597 んれろ、れろツ、ちゅぶ、ちゅ……ん、ちゅ、チュツ。

598
599 いつ出る？

600 イク気配がわからない。

601
602 (主人公「イキそうな時は……おちんちん熱くなるんだ」)

603
604 へえ……チンポの熱で判断できるのか。

605 れろれろツ、ちゅ、ちゅ、なら、まだまだか。

606 もう少し本気で責めた方がいいか。

607
608 れろつ、れろ、ぺろ、ぷちゅ、ん、ちゅ。

609 どのみち、啞えなきや暖を得られないし……。

610
611 (啞えフェラ開始)

612

■演技…指定箇所以外、啞えたまま

613
614
615 んむむうう、ちゅば、ちゅ、ちゅうううッ。
616 ちゅく、んんん、チュッ、ずずつ、ちゅ……ちゅるるるッ。
617 ふう、ふう、んん、ちゅ、んん、ちゅ、ちゅう。
618
619 ちゅ……ずずううう、ふちゅ、ちゅつ、ちゅるる、ヂュッ。
620 んんううう、ちゅる、ちゅ……ズズズッ。
621 んんむ、ちゅ、ちゅく、んん、ヂュッ。

(主人公「気持ちいい……」)

622
623
624
625 そう？ 気持ちいいならよかった。
626 こっちは……ずずうう、ちゅぶッ、ちゅ、んんぶぶぶッ。
627 口が疲れるから、早くイッてほしい。

628
629 ずずぶぶ、ヂュッ、ちゅるるるッ、ヂュッ。
630 んんん、ちゅ、歯を立てないように舐めるのって、
631 かなり難しい……。

632
633 ちゅるるるッ、ちゅ、ずずつ、ちゅ、ヂュッ。
634 大人のオンナ達……こんな難しいことしてたのか……。

635
636 ちゅるるッ、ちゅつ、ちゅううう、ヂュッ。
637 まてよ？ レナ様も経験——いや、あり得ないか。

638
639 ちゅ、ぶちゅうう、ちゅ、んんん、ズズッ。
640 ヂュッ、ヂュッ！ ずずつ、ちゅくん、ヂュッ！

■演技…口を離す

641
642 ふはあッ。

643
644
645 レナ様は処女であるべき。

646 あんなに美しいんだから……高潔であって当然♥

■演技…口を離す(ここまで)

647
648

649 んぷうううう、ぢゅぷッ、ヂュッ！

650

651 (主人公「そんなに……好きなんだ」)

652

653 うん。好き。

654 れろれろッ、ちゅうう、チュッ、レナ様が汚されるなら、

655 私が身を差し出す……っ。

656 レナ様が種付けされようものなら……、

657 ちゅうう、ちゅ、私が名乗り出て、代理で種付けされる。

658

659 それくらい、あの人が好き……。

660 ちゅむ、ぢゅ、ズズッ、ぢゅ、ぢゆるるるッ。

661 んぷん、ヂュッ、ぢゅ、ぢゆる、ズズッ。

662 んぷ、ぢゅっ……はあ、んむ、ん、ぢゆる、ぢゅくッ。

663

664 ずるるッ、ぢゅ、ん？ アンタ、なんで勃起した？

665 ぢゆるッ、ぢゅ、口の中で……より硬くなった。

666

667 ぷぢゅんん、ぢゆる、ヂュッ、ズルルッ。

668 ぢゅッぢゅっ……ぷぢゆるるる、ぢゅ……んんん、ずずッ。

669

670 (主人公「い、色々想像しちゃって……」)

671

672 変態。

673 ぢゅぶうう、ヂュッ、私に種付けしたいか？

674 ぢゆるうっ、ぢゅう、んんぷ、ヂュッ、ま、させないけど。

675 ぢゆるッ、ぢゅ……んんっ、ぢゅっ！

676

677 ほら、早くイケ。

678 ずずううう、ぢゅぷ、ヂュッ、ぢゅんん、ぢゅくッ！

679 あぶっ……ぢゆるっ、ぢゅ、んん、ぢゅくんん、ヂュッ！

680

681 (主人公「出る……っ」)

682

683 暖まるし……このまま飲んでやろう。

684 ぢゅうううう、ヂュプッ、ヂュッ！

685 このまま出せ。

686 ぢゆるッ、ぢゅくんん、ズズッ、ぢゅ！

687 ぢゅぶう~~~~~ッ！

688

(口内射精)

◇SE…射精

690

691 んぶうッ？

692 こふッ！ んッ……んんうう！

693 はあ、はあ……あぷッ、ん、んくん……ッ！

694 ふう、ふうっ！

695 出た？

696 んん、ッ、んっ、ふう、ふう……！

697 吐きそお……ッッ。

698

700 **演技…ペニスから口を離す(精液は含んだ状態)**

701

702 ぷひゅ！

703 んっ……んんうう……ッ。

704 ふう、ふう……ッッ。

705

706 **演技…ごっくん**

707 ごくッ……ごくッ……！

708 ごく……ッッ！

709

710 **演技…含んだ状態ここまで**

711

712 ぷはああ！

713 あゝっ！ 死ぬかと思った……マズすぎる……。

714 暖を取る目的がなかったら絶対飲まない。

715 というより、二度とこんなものか……！

716

717 ああ、最悪……。

718 しかも、まだ萎えてないじゃない……。

719 アンタ、なんなのほんとに……。

720

721 ●トラック4 ノア！レナ様の竿姉妹になる！

722

723 ●背景：山小屋（日中）

724

（トラック3の続き）

725

（フェラ後、股ぐらにいるノア）

726

727 ◆正面下（フェラ位置）

728

さすがにもう抜けない……。

729

口疲れたし……こんな気持ち悪いの、何度も飲めるわけない。
はぁ……。

730

（主人公「口、初めて？」）

731

ん？ そりゃあ初めてに決まってる。

732

男のチンポなんて好き好んで舐めるわけないでしょ。

733

（主人公「レナさんも同じだったっけ」）

734

はッ？ レナ様も？

735

ちよつと待て……。

736

◇SE…立ち上がる

737

738 ◆正面近い

739

その口ぶり……まるでレナ様にチンポ舐めさせたみたいな発言だな！

740

（主人公「な、舐め合いを……」）

741

ハァーっ 舐め合いいいッーっ

742

私だつて舐めたことのないレナ様のおまんこを……、

743

き、貴様如きが舐めたつていうのッーっ

744

745 ■演技：くしやみ

757 くしゅッ！

758

759 (主人公に抱きつく)

760 ◇SE…抱きつく

761

762 ◆左極近

763 ■演技…指定箇所以外、マイクに横向き

764 うううッ！ さむさむさむ……ッ！

765 ふざけるなほんとにい……ッ！

766 尊敬するレナ様のおまんこを舐めたどころか……、

767 この汚物同然のチンポを舐めさせたと？

768

769 そんなやつに抱きつかなきや延命できないなんて……ッ、

770 騎士と言いながら自分さえ守れない自分が呪わしい……。

771

772 ……いや、待てよ？

773 同じチンポをしゃぶったと言うことは、レナ様と間接キス……ッあ

774 それに同じチンポを挿んだということは間接的に手を繋いだとも言えるのでは……ッあ

775

776 ■演技…思わず変な笑い

777 むふっ……！

778 ■演技…ここまで

779

780 ……あ、いや、なんでもない。

781 それで？

782 いったいなにがあつてそんな行為を？

783 あレナ様がガキひとりに犯されるなんてあり得ない。

784

785 (主人公「あの……試験として、色々と」)

786

787 ■演技…ちよつと主人公の方を向く

788 し、試験ッ？

789 レナ様はいったいなにを考えて……！

790

791 (主人公「あの……セックスもしました……」)

792

793 ハアアアッ
794 れ、レナ様とセックスッ
795 なんてハレンチなことをッ！
796

◇SE…背中を。へち。へち叩く

798
799 ふざけるな貴様ッ！

800 この遭難を乗り切ったら肅正してやる！ 死刑だ死刑えッ！

801
802 (主人公「で、でもレナさんがテストだからって！」)

803

804 て、テストで処女をッ

805 レナ様が自分から？

806 そんなわけないあり得ないあり得ない！

807

■演技…小声独り言

808
809 ……いや、待てよ？

810 このチンポを私が受け入れたら……、

811 それすなわちレナ様と同じチンポで処女を終えたことになる？

812

■演技…どんどん興奮して早口に

813 それはもはや家族よりも深い仲と言えるのでは？

814
815 むしろ同じチンポとセックスしたのなら、間接的に私はレナ様とセックスしたということ

816 にも……ッ

■演技…小声独り言興奮早口ここまで

817

818
819 こほん。

820

◆正面近い

821

822 ちよつと待って。

823

824

825 ◇SE…立ち上がる

826

◆正面上 (主人公が座り、ノアが立った状態)

827

828

829 全部脱ぎなさい。
830 肌を直接合わせた方が暖を取れる。
831 私も――
832
833 ◇SE…ズボンを脱ぐ
834
835 全部脱ぐ。
836
837 ◇SE…床に足をつく音×2
838
839 なんて見てる？
840
841 ◇SE…パンツを脱ぐ音
842
843 ■演技…下を見ながら
844 早く脱がなきゃ冷えちゃうだろ。
845 ■演技…「う」まで
846
847 ◇SE…床に足をつく音×2
848 (数秒後、下半身のみ裸に)
849
850 まあ、見ててもいいか。
851
852 ◇SE…シャツを脱ぐ音
853
854 勃起された方がいい。
855
856 ◇SE…ブラのホックを外す
857
858 レナ様だってさぞ立派に勃起させたんだろ？
859
860 ◇SE…ブラを脱ぐ音
861
862 私だってレナ様と同じくらい、そそらせてみせる。
863
864 (ノア、全裸に)

865
866 さあ、アンタも上を脱げ。

867
868 ◇SE…シャツを脱ぐ

869
870 ……ふん。

871 薄っぺらい体だな。

872 そのままベッドに寝ろ。

873 私が動く。

874
875 (主人公「え?」)

876
877 え、じゃない。

878 セックスすると言ってるんだ。

879 早くしろ。

880
881 ◇SE…ベッドに寝転がる

882
883 ◆正面下遠い(主人公が寝た状態)

884
885 ■演技…小声で独り言

886 レナ様、私はやり遂げます……っ♥

887 ■演技…ここまで

888
889 ◇SE…ベッドの軋み

890 ◇SE…跨がる
891 (ノア、跨がって騎乗位の体勢に)

892
893 ◆正面近い

894
895 これでレナ様とお揃いだ♥

896 動くな。観念して……チンポを入れさせなさい♥

897
898 ◇SE…挿入

899
900 痛ッ!

901 ンッ！ んううううう……ッ！

902

903 (根元まで挿入)

904

905 あああああッ！

906 中々、苦しい……っ。

907 はあ、はあ……はあ……ッ、かなり苦しいけど……っ、

908 レナ様と、間接的に交わったと考えたら……ッ♥

909

910 (主人公「あの、さすがにそんなことは——」)

911

912 うるさい。アンタはしゃべるな。

913 私は……レナ様との価値観、快感、すべてを共有するために——

914

915 ◇SE…ピストン・低速

916

917 ンんううううッ！

918 セックス、してやる……ッ！

919 はああッ、あああッ、くぎゅッ、う、ううううッ！

920 はああッ、う、ううッ、なんだ、これ……ッ！

921

922 チンポに、引っ張られるう……ッ！

923 ううううッ、はああッ、はあッ……く、う……ッッ。

924 あッ……く、うう……うううッ！

925

926 はああッ、はああッ。

927 うくッ、う……んううう、うっ！

928 はッ、ああ、うッ、う……んうう、んッッ！

929

930 ◆左極近

931

932 小さいと思ってたけど……っ、中に入ると、

933 思いのほか、奥まで、擦れる……ッ。

934 ああああ……んん、うくッ、ん……っ。

935 あんッ、ん……んん、はあッ、はあ……っ、んくんッ、ん……ッ。

936

937
938 ああ、レナ様もこんな気分を味わったんだ……っ♥
939 あのレナ様は、どんな感じで味わってた？

940
941 (主人公「最初から結構気持ちよさそうで……」)

942
943 そっかそっか……っ♥

944 さすがレナ様……っ♥

945 初めてチンポを受け入れたとしても、
946 堂々と快感を味わうなんて……ッ♥

947
948 んんうつ、はあっ、はあっ、レナ様が気持ちいいと思うなら、

949 私も当然、このチンポが気持ちいい♥

950 はあっ、はあっ、んん、んうつ、んっ。

951
952 (主人公「それと……先にイッてた、かな」)

953
954 ほう？ あのレナ様が先に絶頂を……。

955 ふふっ、なら、私がすべきことはひとつ——ッ。

956
957 ◇SE…ピストン・中速

958
959 んんうつうつッ！

960 んんんんんっ♥ レナ様の足跡を辿りッ、あう、んッ♥

961 私もッ、絶頂に導かれるのみいッ♥

962 んふっ、ん、あっ、ああっ。

963 んくッ、ううう、ん、ンッ、んっ。

964
965 あああっ、レナ様気持ちいい♥

966 レナ様のおまんこどうですかっ？

967 はあっ、はあっ、今度、同じチンポを味わったおまんこ同士、

968 舐め合いっこしましょうねえ♥

969
970 あああっ、んくッ、ん、んうつッ♥

971 あああああッ、そろそろっ、イクかもしれない……ッ♥

972

973 はああっ、ああっ、んくッ、ん、んううッ♥
974 うううううっ、ンッ、ん、んううううッ。
975 あああっ、いつ、イクううう……ッッ！

976
977 (ノアのみ絶頂)
978 (ピストン停止)
979

980 ンンンンッッ！
981 アッ——あああああッッ♥

982
983 はああッ……はああッ……！

984 んくッ、うう……あ、ああ……っ♥

985 はあ、はあ……あ、ああ……くううう、う……ッ♥

986
987 これで、レナ様とお揃いに……ッ♥

988 私も、同じガギのチンポで……イケたあ……っ♥

989
990 (主人公「も、もう終わり？」)
991

992 んう？

993

994 ◆正面近い

995

996 どうした？

997 まだ動いてほしいか？

998 んう……でも、残念だったな……♪

999 私が欲しかったのは、レナ様と同じチンポを味わうことだけだ。

1000 アンタの射精を促すつもりなんてナシ♪

1001

1002 ま、おまんこに入れた方が密着するより格段に暖が取れるけど……

1003 私は男が嫌いなんだ。

1004 さっさとチンポ抜いて、あとは抱き合うだけですませよう。

1005

1006 (主人公「じつは……まだレナさんが経験したこと、味わってない

1007 よ。」)

1008

1009 は？ レナ様が経験したこと？
1010 なに？ ほかにもなにか、レナ様はこのチンポで味わったというの？
1011 教えろ！
1012 私も共有する！
1013

1014 (主人公「それはね——」)

1015 (主人公が腰を突き上げてピストン再開)

1016 ◇SE…ピストン・中速

1017

1018 ンうああああッ！

1019 へっ？ な、なんだよッ！

1020 これッ？ これがレナ様が経験したことッ！

1021

1022 (主人公「中、感じる？」)

1023

1024 んっ？ あっ、なんだッ——！

1025 チンポがッ、私のナカで、ああああッ！

1026 一段と、おおッ、大きくうう……ッッ♥

1027

1028 そ、そうかッ……！

1029 これ、魔法だな……ッ？

1030 おまんこのナカのチンポがッ、はあっ、はあっ、さっきよりも脈打ってるッ！

1031 こんなデカチンでッ、うぎゅッ、うッ♥

1032 レナ様はッ、おまんこ、を……ッッ♥

1033

◆右極近

1034

1035 ああああッ！ くッ、うう、はあっ、うッ、んんんッ！

1036 あふッ、あ、ああッ、ん、んうう！

1037

1038 はあっ、うッ、ん、んうう！

1039 はあっ、はあっ！

1040 無理やり突かれるのはッ、気に障るところもあるけど……ッ、

1041 これをつ、大好きな人が受け入れ、おまんこをかき混ぜられたのなら、

1042 はあっ、ああッ、ンッ♥

1043 私は、受け入れるのみ……ッッ♥

1045 んううッ、アッ、アアッ♥
1046 んんッ、く、んううッ、ん、はあッ、はあッ♥
1047 んんッ、く、んううッ、ん、はあッ、はあッ♥
1048 んうう、ああッ、あう、ん、んんッ♥
1049 はあッ、う、んんッ、く、んう、あう、んんッ♥
1050 レナ様が感じたチンポッ、んう、そう思えば、自然と昂ぶる……ッ。
1051 本当なら、なんの試験をしたのかも、
1052 事細かに聞いておきたいところ……ッ。
1053 しかし、レナ様は私に内緒でアンタを受け入れたッ。
1054 秘密にしたい理由があるなら、
1055 はあ、ンッ、ん、師の意思に反するのは、弟子のやるべきことではない……ッ。
1056 んう、私はただ、レナ様の足跡（そくせき）を感じながら、
1057 ただ、ただッ、おまんこで、満たされるのみ……ッ♥
1058 んんううッ、はあッ、アッ、んううッ。
1059 はっ、く、んうう、んッ、アッ、んうう、んッ。
1060 ああッ、本当に気持ちいいな……ッ。
1061 だけどッ、んん、ただ、おまんこに入っただけ？
1062 ほかにレナ様に、なにをした？
1063 （主人公「お、おっぱい揉んだけど……」）
1064 乳揉み？
1065 んううッ、んッ、私を見ろ……ッ。
1066 揉むようなサイズはない……ッ。
1067 それに、うッ、羨ましい……ッ。
1068 あのレナ様の鍛え上げられた肉体、
1069 その中で唯一柔らかいおっぱいを……はあッ、はあッ、その手で……？
1070 んう、なら、その手で揉んでよ……ッ。
1071 んん、んッ、私を揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1072 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1073 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1074 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1075 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1076 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1077 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1078 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1079 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、
1080 んん、んッ、私のを揉めば、アンタはレナ様のも揉んだのだし、

1081 間接的に私のおっぱいと、レナ様のおっぱい、乳合わせしながら、擦りつけてるようなも
1082 のでしょ……？

1083
1084 (主人公「ち、違うと思うけど……」)

1085
1086 違う？ そんなことはない……っ。

1087 んう、とにかく、揉んで……ッ。

1088
1089 (主人公、乳揉み)

1090
1091 あッ♥ んう、が、ガキのくせに、慣れてる……ッ。

1092 アッ、ああっ、んくッ、はあっ、あぶ、ん、んう……ッッ。

1093
1094 んん、ああああっ、う、んん、んく、ん……ッ。

1095 はあ、はああっ、う、ん……ッ、

1096 レナ様も、感じたんだ……ッ♥

1097 ああ、これで、念願の乳首の擦りつけをしたも同然……ッ♥

1098
1099 なあ、レナ様の乳首はどんな形してた？

1100 乳輪は？

1101 感度は？

1102
1103 (主人公、説明する)

1104
1105 はああっ、はああ……ッ。

1106 んく、ん、んううう……っ。

1107
1108 (主人公、説明し終える)

1109
1110 なるほど……っ。

1111 そんなおっぱい、してたんだ……っ。

1112 さすがに女同士と言えど、弟子たる私が師匠のおっぱいを見るのは恐れ多くて、んう、
1113 ンッ、それに、あんなに綺麗なレナ様の裸を見たら、

1114 はあっ、はあ、私、おまんこが濡れて、潮を吹きかねない……ッ。

1115

1116 アッ、ああッ♥

1117 私の貧相なおっぱい、気持ちいいの？

1118 ん、ッ、ん、硬くて太い……ッそれにッ、熱い……っ♥

1119
1120 (主人公「レナさんも、同じようなこと言ってた」)

1121

1122 はあっ、あああっ、へえ？

1123 レナ様が、同じような感想を？

1124 ん、んう、嬉しいな……っ♥

1125 やはり、私とレナ様は、快感を共有して、ンッ、ん、このチンポで、
1126 遠くに居ながらも、繋がってるんだ……っ♥

1127

1128 ああっ、嬉しくて、どんどん、んううッ、ああッ♥

1129 私も女だからね……っ。

1130 はあっ、はあ、さすがに、チンポを再三擦られたら、

1131 イク準備、できてる……ッ。

1132

◆正面近い

1133

1134
1135 はあ、はあっ……。

1136 なあ、レナ様にはどこに出した？

1137 ハッキリ、言っている。

1138 はあっ、はあ……っ、なんとなく、想像ついてるし……っ。

1139

1140 (主人公「な、中出し……」)

1141

1142 ふ……っ。

1143 やっぱり、中出しか……っ。

1144

1145 なら、私も中出し一択だ♥

1146 出せ♥

1147 お揃いの精子でッ、レナ様と私を、さらに繋げるんだ♥

1148

1149 ◇SE…ピストン・高速

1150

1151 ンンンンッ！

1152

◆左極近

1153
1154
1155 あああッ、ガキのくせに……んううッ！
1156 あッ♥ 男嫌いの私がつ、チンポにわからされるうッ♥
1157
1158 ああッ、でもッ、あんなに硬派で凜々しいレナ様も、
1159 同じようにチンポで悶え、喘いでッ、イカされたんだあッ♥
1160 ならば弟子たる私もおッ、同じようにわからされるべきだあッ♥
1161
1162 はあッ、はあッ、さあ、覚悟はいいッ♥
1163 レナ様の子宮を汚した時のように、
1164 はあッ、ん、んうううッ！
1165
1166 私のおまんこ、アンタの熱々の精液で汚さないッ♥
1167 出せ出せ出せえッ♥
1168 ああああッ、さあ、濃い……ッ♥
1169
1170 レナ様ッ♥ 私はどこまでもお供しますッ♥
1171 セックスも処女も中出しもッ、
1172 そして、腹ボテだって共有する覚悟ですうッ♥
1173
1174 んうううッ♥
1175 あああッ、イキそうだから出してッ♥
1176 精液い……う……う……う……アアアアアアッ♥♥
1177
1178 (同時絶頂(中出し))
1179 (ピストン停止)
1180 ◇SE…射精
1181
1182 ンアアアアアアッ♥
1183 あふっんううう！ アッ——ああああッ♥
1184
1185 くぎゅッ♥ うッ、うううう……ッッ♥
1186 はあッ、はああッ……！
1187 うくッ、ん、んうッ♥
1188

1189 レナ様も経験したッ……子宮へ宿る、精液いい……ッッ♥
1190 アッ、ああッ♥
1191 これえ、レナ様は受精したの？
1192 いつ？

1193 というか、最近セックスした？

1194 もし最近なら、はあッ、はあ、私と同じ精子で、受精できるんじゃあ……♥

1195
1196 （主人公「い、いや、半年前……」）

1197

1198 は、半年前？

1199 なら精子は返却ね……。

1200 はあ、はあ、私だけ受精したら、意味ないし……。

1201

1202 んう、んッ、ん……それでも、

1203 レナ様ヌキにしても、んくッ♥ んッ♥ この絶頂は温かくて、

1204 しばらく、温かい余韻は続きそう……♥

1205

1206 認めたくはないけど……全部、アンタのおかげ。

1207 レナ様だって……アンタを認めたんでしょ？

1208 なら、私も……もう、拒絶しまくるのはやめる。

1209

◆正面極近

1210

1211 ねえ、温かいからしばらく繋がったままでいい？

1212 セックスはしないけど……温かいから、チンポで暖取りたい。

1214

1215 （主人公「え、でも……」）

1216

1217 なーに？ 文句ある？

1218 当然だけど、レナ様には劣るとはいえこんなイイ女の裸拝んでるんだ。

1219 入れたままのチンポ、萎えたりしないでしょうね？

1220

1221 （主人公「し、しません」）

1222

1223 ふふ、よろしい。

1224 じゃ……しばらく休憩しよう。

1225
1226 ●トラック5 大雪が止む頃に
1227

1228 ●背景：山小屋（日中）

1229

1230 （トラック4の数時間後）

1231 （ノア、繋がったまま）

1232

1233 ◆正面極近

1234 ■演技：このトラックは優しいめのトーンでお願いします

1235

1236 ……雪、止んできたみたい。

1237 アンタのおかげでなんとか乗り切れた。

1238 何時間もチンポ勃たせてくれてありがとう。

1239

1240 私、結構冷え性でね、

1241 少しでも距離取ってたら風邪引いて倒れてたかも。

1242 アンタが魔法に心得があつてすこ〜〜しだけ優秀で助かった。

1243

1244 （主人公「同じ姿勢で疲れてない？」）

1245

1246 ううん。疲れはない。

1247 心配してくれてありがとう。

1248 ……疲れはないけど、中に溜まってた精液がすっかり渴いちゃった。

1249 洗うのが大変そうだ。

1250

1251 （主人公「で、デキたらどうしよう」）

1252

1253 デキる？

1254 ふふ、私の本命はレナ様だぞ？

1255 精子なんて、本物の愛の力でかき消してやる。だから安心して。

1256

1257 （主人公「む、ムリだと思うけど……」）

1258

1259 ムリなものか。

1260 あ、そうそう。

1261 どうせレナ様がしたであろうから……、
1262 私からこれもさせてもらう。
1263 目、瞑って。

1264
1265 (ノアからキス)

1266
1267
1268 ちゅ、ちゅぶ、ちゅ……ん、ちゅ。

1269
1270 (主人公「う、うそ」)

1271
1272 なに？ その反応は。
1273 私だって女なんだから……キスに対する憧れくらいある。
1274 それに……唇を重ねたら、
1275 もう全身をレナ様と共有したことになるし……、
1276 もうこれは私がレナ様に抱かれたと言っても過言じゃない。

1277
1278 (主人公「か、過言だと思うなあ……」)

1279
1280 うるさい。口答えするな。

1281 キス、もう一回だ。

1282 一応、お礼として……ノアというひとりの女としての、キス。

1283

1284 ちゅ……んぶ、ちゅ、ちゅ。

1285 んん、ちゅ……ちゅくん、ちゅ……アッ♥

1286 ん、ちゅ……ちゅ……ん、ちゅ。

1287

1288 すごい……まだまだ硬くなるな。

1289 危険すぎる……こんなチンポを持った男が師匠に近づいたら、

1290 あの凜々しい師匠が孕まされてしまう……。

1291

1292 ◆左極近

1293

1294 もし今度、性欲が溜まったらレナ様じゃなくて私のもとへ来て。

1295 レナ様はきつと一度ヤツたアンタに求められたら拒否しないし、

1296 意外と男の押しに弱い一面も見えるというか……。

1297
1298 だから、私を求めて。
1299 私ならフェラだろうがパイズリだろうが中出しだろうが、
1300 なんでも受け入れてあげよう。

1301
1302 (主人公「え、えつと……」)

1303

1304 なに？　なんでいま胸を見た。

1305 私、なにかおかしいことでも言った？

1306

1307 (主人公「なんでもないです……」)

1308

1309 胸だって頑張れば成長できるでしょ。

1310 私だってアンタとそこまで年の差ないわけだし、

1311 そっちが年甲斐もなくチンポを大きくできるなら、

1312 私だっていずれは……。

1313

1314 とにかく、師匠の負担を減らしたいだけ。

1315 私になにか思うことがあってアンタを受け入れるわけじゃないから。

1316 そこは勘違いしないように。

1317

◆正面極近

1318

1319 さ、帰ろうか後輩君。

1320

1321 帰ったら一緒に稽古してあげる。

1322

1323 師匠直伝の栄養満点メニューで筋肉量をさらにアップだよ

1324

1325 (主人公「料理作ってくれるの?」)

1326

1327 うん♪ 料理するよ?

1328

1329 かなり上手いと有名なんだからね? 楽しみすぎて下山中にお腹グーグー鳴らすなよ?

1330

1331